

2019/20 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



第 2660 回例会 2019 年 9 月 4 日 (水)

SAA/ 檜垣会員 会報担当 / 川島事務局員

事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粋

- 点 鐘 篠田会長
- ソング 君が代 奉仕の理想 4 つのテスト
- お客様
- 会長挨拶

皆様こんにちは。

2019-20 年度が始まり 2 か月が過ぎました。まだまだ先は長いですが、私と福原幹事も第 4G 同士の例会参加も終わり、一息つきたい所ですが、今年度企画をしている創立 55 周年記念演奏会が今月の 22 日 (日) と迫っています。この企画は、日頃より「あいさつ運動」その他さまざまな活動に対し、市内小・中・高校生をはじめ地域の関係団体の皆様に多大なるご協力を頂いている事に対して感謝の気持ちを表す事と、地域の多くの皆様に市原ロータリークラブの存在を知って頂く公共イメージと、行く行くは興味を持っていただいた方に入会して頂ければとの会員増強も兼ねています。今は、創立 55 周年記念演奏会 PT で準備をしていますが、会員皆様には今後一人でも多くの方に演奏会に足を運んでいただける様にご協力を頂くとともに、当日は役割分担に沿ったご協力をお願い致します。

そして本日は、今年度水澤会員に続き 2 人目の新入会員 石井亮介さん 皆様の賛成により本日より入会いたしました。石井亮介さんおめでとうございます。入会後はロータリーって何をする団体なのか? 専門用語が分からない? など、多くの疑問もあると思いますが、クラブには会員研修委員会を中心に新入会員向けの研修会を実施していますので、ゆっくりとクラブに慣れていただければと思います。後ほど、新会員入会式にて一言ご挨拶をお願い致します。会員増強・退会防止委員会の上野委員長には、私が今年度のスローガンに掲げた『一歩踏み出す勇氣! ~ 変わろうとする覚悟 ~ をいち早く実践いただきありがとうございます。

さらに、本日は米山記念奨学生としてクラブで応援させて頂いた、李俊傑さんがご家族で例会に参加して頂きました。2015-16 万崎年度 3 年前、白鳥会員をカウンセラーとして米山記念奨学生として千葉工業大学に通い、卒業後の今については、後ほどのご挨拶の中でご活躍についてお話頂きたいと思っております。

9 月は、国際ロータリー特別月間の「基本的教育と識字率向上月間」ですが、日本独特の月間テーマが設定されています。それは、「ロータリーの友月間」です。今日は、『ロータリーの友』を少し紹介いたします。2015 - 16 年度から国際ロータリーの特別月間が変更になりました。それに伴い、4 月の「雑誌月間」がなくなったため、ロータリーの友委員会では、あらためて「ロータリーの友」について、考える時間をつくって下さいという思いで 9 月を「ロータリーの友月間」と定めたようです。戦後 1 地区だった日本のロータリーが 2 地区に分割されたのが 1952 年 7 月。その少し前、4 月に大阪で開催された地区大会

で、分割後の 2 地区が情報を共有できるようにと、雑誌の創刊が決まりました。その後、東西のロータリアンで協議した結果、1953 年 1 月に『ロータリーの友』が創刊されました。創刊号の発行部数は、3,300 部 (表紙は赤富士) だったそうです。最初は全ページ横組みでスタートしましたが俳句や短歌の欄ができ、部分的に縦組みのページも混在するようになってきました。現在のように、横組み、縦組みと分かれるようになったのは、1972 年 1 月号からです。

後で詳しく紹介しますが、現在は、国際ロータリー関連、ロータリー全体で力を入れている活動、特集などは横組み、ロータリーの友の創刊目的を果たす内容のものは縦組みに掲載しています。その後、日本の会員数の増加と共に発行部数は伸び、これまでで一番発行部数が多かったのは、1990 年台後半の 142,000 部です。会員数が一番多いときでした。現在の発行部数は、約 95,000 部です。ちなみに、今年の 8 月号で通巻 800 号になりました。

ロータリーの友は、国内のロータリアン同士を結ぶ懸け橋として創刊されましたが、1980 年 7 月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリーの公式地域雑誌としての役割を担うことになりました。その後、公的な呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」となりました。世界には、ロータリーの友のような地域雑誌が 32 あります。そして、これらと RI 本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌『The Rotarian』を合わせて、「Rotary Global Media Network」と言うようになりました。

ロータリアンは、その地域で国際ロータリーから指定されているロータリー地域雑誌 (日本の場合は『ロータリーの友』) または『The Rotarian』を購読する義務がありますが、ロータリー地域雑誌にも守らなければいけない規則がいくつかあるようです。

一つは、7 月号の表紙に新年度の国際ロータリー会長の写真を掲載すること。そのほかにも、雑誌の内容の 50% はロータリー、またはロータリー関連の記事であること、年に 6 回は発行され、24 ページ以上であることなどです。

毎月掲載されるものとしては、RI 会長メッセージ、財団管理委員長のメッセージ、次回行われる国際大会の案内があります。これは、ロータリークラブの会員として、全世界で共通して認識してほしいことなので、ぜひ目を通してください。

これらのほかに、7 月号では、RI 会長の紹介記事、9 月号か 10 月号には国際大会のプロモーション記事、3 月は、RI 会長エレクトの記事などがここ最近では RI から指定されています。

横組みが、国際ロータリーの方向性を意識した記事が中心である一方、縦組みは、日本のロータリアンの架け橋となる投稿記事を中心に掲載しています。『ロータリーの友』が創刊された時の目的でもある、日本のロータリアンの間で情報を共有したいという気持ちを表わしてい

るのが縦組みです。

2019-20年度の『友』の表紙は、横組みの方は、佐久間真人さんが、過去のような未来のような、日本のようなそうでないようなノスタルジックな世界を、2匹の白猫が11ヶ月の旅をする表紙になります。縦組みの表紙は、後藤文彦さんに、ロータリーの歴史に名前を刻んだ人の似顔絵を描いてもらいます。

『ロータリーの友』には、ロータリーに関するさまざまな情報が掲載されています。

『ロータリーの友』はロータリアンの活動や意見からなる雑誌です。

『ロータリーの友』を読み、『ロータリーの友』をご活用ください。

簡単ですが、本日の会長挨拶とさせていただきます。

■委員会報告等

奉仕プロジェクト委員会	野口委員長
会員研修委員会	山本委員長
会計	宮武副委員長
55周年記念演奏会	箕輪委員長
VONDS市原	永野会員

本日のメインプログラム

会員卓話

卓話者 小池会員

■ニコニコ・ソーリー

赤星会員 稚内宗谷岬と幌延の地下350Mに降りてきました。

長田さんの弟さんと一緒でした。大盛りのうに丼も稚内ラーメンも美味しかったが、大事業は感激と感動でした。

白鳥会員・リ・シュンケツ様 市原ロータリークラブの皆様米山記念奨学生として大変お世話になりました。本日は家族で参加させていただきました。今後ともよろしくお願ひ致します。

小池会員 卓話をご清聴頂きましてありがとうございました。

本郷会員 小池先生卓話ありがとうございました。リ・シュンケツ様なつかしくうれしく思いました。又来会お待ちしております。

会長・幹事 石井亮介さんご入会おめでとうございました。一緒にロータリー活動を楽しみましょう。李俊傑さん今後増々のご活躍を祈ります。9月22日の記念演奏会成功に向けて皆様のご協力をお願い致します。

■出席報告 前々回確定 66.66% 本日出席 30名

欠席 23名 本日出席率 62.50%

■点 鐘 篠田会長

9月4日 例会場 淡粋 献立表

市原ロータリークラブ様
令和元年 九月四日
お献立

一、デザート あずきシャーベット	一、食事 留挽 味噌汁 エリンギ茸炊込御飯 二種盛り	一、揚げ物 豆富ハンバーグ 鱈甲揚げ 挿り生姜 もやしと 占地炒め物添え	一、煮物 若鶏と冬瓜のつべい煮 南瓜 ミニおくら	一、焼物 鱈ソテー 海鮮醬ソース 彩りパブリカ 白髪葱	一、小鉢 小松菜と薄揚げ身浸し
---------------------	-------------------------------------	--	-----------------------------------	--------------------------------------	--------------------



司会の 檜垣会員



篠田会長 挨拶



福原幹事 理事会報告



新入会員 石井様紹介



石井様 新入会員おめでとうございます。



奉仕プロジェクト委員会 野口委員長より
9月9日～11日の挨拶運動ご協力について



会員研修委員会 山本委員長より
10月9日 東京RC例会出席について

VONDS市原ご支援についてのご願いと
9月29日決起会開催について永野会員



元米山記念奨学生の李俊傑様と白鳥会員

李俊傑様よりご挨拶



小池会員 小池会員が入会したエピソードなどロータリーの歴史をお話して頂きました。

